

2020 年度東大病院優秀指導医賞受賞者のご紹介

2021 年 3 月 10 日に東大病院優秀指導医賞表彰式が行われ、瀬戸病院長より表彰状が授与されました。

東大病院に課された重要な使命のひとつは、幅広い分野で優秀な医療人を輩出することであり、東大病院でこそ行うことのできる教育があると考えられています。

「優秀指導医賞」は病院内で、臨床研修医への教育・指導に大きな貢献を行った医師に対して、その労を称え表彰するものです。受賞された先生方のますますのご活躍をお祈りいたします。

優秀指導医賞受賞者 受賞コメント

受賞者から、受賞コメントを寄せていただきました。

感染症内科 岡本 耕 先生



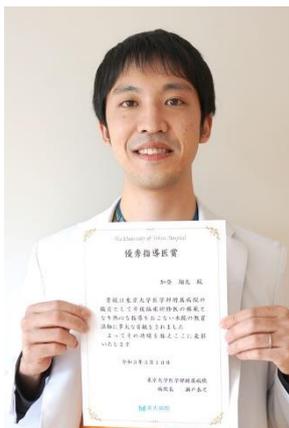
この度はこのようなご評価をいただき、大変光栄です。今年度は新型コロナウイルス感染症の対応のためベッドサイドでの診察がままならなかったり、患者さんが次々と押し寄せたりと我々指導医にとっても研修医の先生方にとっても困難が多かった一年でした。しかし、そのような中でもチームとしてたくさんの学びを共有できたことは大きな財産になりました。今後も臨床現場でのチームとしての学びを継続・進化させていければと思います。

精神神経科 大路 友惇 先生



この度は荣誉ある賞を頂き大変光栄に存じます。2度目の受賞大変感謝しております。精神科では症候を捉えて診断して治療する事に加えて、患者さんの人としての姿を捉えて治療の見立てを考えることを大切にしております。精神科では毎日2回、指導医、副指導医、後期・初期研修医の先生方や看護師、心理士、薬剤師、精神保健福祉士、ピアスタッフなどの多職種で話し合いながら治療方針を決めています。一緒に診療をしていく中で研修医の先生方には指導させて頂きながらも、若い先生方の視点や考え方、価値観に学ばせて頂くことも多く大変感謝しております。ご興味のある方は是非研修にいらして下さい。一緒に見立てを考えていきましょう。

小児科 加登 翔太 先生



この度は身に余る賞をいただき、驚きと喜びと感謝でいっぱいです。1か月の小児科研修で子どもを診る楽しさを感じて、小児科を回ってよかったと思ってもらえるように一緒に診療にあたっているつもりです。その中で少しでも小児科（あわよくば小児血液・腫瘍分野）に興味を持つ人が増えてくれればなお嬉しいです。一緒に働いてくれた研修医の皆さん、本当にありがとうございました。今後も診療・研究・教育のいずれもが欠けることのないように自己研鑽を積んでいきたいです。

腎臓・内分泌内科 小田 康弘 先生



受賞のご連絡をいただいた時は全く思いもよらないことでとてもびっくりしましたが、大変嬉しく有難く存じます。折角腎臓・内分泌内科をローテートされチームとして一緒に働いてくださる研修医の先生方に、多くのことを吸収してもらいたい、ローテートして良かったと思ってもらいたいという気持ちで臨んでいますが、自分がこれまで先輩方からいただいた指導の何分の一かしか還元できていないのではないかと感じていました。今回のことを励みにして引き続き努めて参りたいと存じます。

精神神経科 日吉 史一 先生



この度は優秀指導医賞を頂きまして誠にありがとうございます。ひとの命やこころに敬意を払い、真摯にごまかしなく向き合う研修医の先生方の姿勢に、多くを学んだ一年でした。精神神経科の多職種のスタッフや研修医の先生方と一緒に、こころをつかい悩みながら歩めたことに感謝しています。研修医の先生方にとって、精神神経科の臨床研修が良い経験となるように微力ながら尽力して参ります。今後とも何卒宜しくお願い致します。